

天皇 - 精神の焼跡 -
Emperor-Burn of the spirit-

KUNST ARZT では、3年ぶり3度目となる宮岡俊夫の個展を開催します。宮岡俊夫は、小さなイメージを逆さまに描く手法をベースに絵画表現するアーティストです。モチーフは、雑誌やインターネットから“匿名性の高い風景画像”を選んできましたが、2020年から、ある意味逆のベクトルである“ある特定の人物画像”のシリーズが始まりました。そこには「日本の近代化を支えてきた“日本人の精神”を徹底的に批判し解体する」というアーティストの信念があります。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



Emperor-Ghost Of Showa Era 2020

主な経歴

- 1984年 島根県出雲市生まれ
- 2008年 多摩美術大学美術研究科修了

個展

- 2007年 どこかとはどこか 西瓜糖 (東京)
- 2012年 真景-島根の風景-カラコロ工房地下金庫ギャラリー (松江)
- 2014年 誰も知らない場所 ベイスギャラリー (東京)
- 2014年 記憶の外側で トーキョーワンダーサイト渋谷 (東京)
- 2016年 名前を奪われた風景 KUNST ARZT (京都)
- 2018年 何処か 私に 似ている KUNST ARZT (京都)
- 2020年 漂流する絵画 GAMOYON Gallery (大阪)
- 2020年 漂流する絵画 YUKI-SIS (東京)
- 2021年 月光-風景 DOOR gallery (松江)
- 2021年 記憶の痕跡 日本橋三越本店 本館6階美術サロン (東京)

主なグループ展

- 2007年 トーキョーワンダーウォール入選作品展 東京都現代美術館 (東京) 2011年 2013年 かも
- 2012年 アートシャワー2012 海岸通ギャラリーCASO (大阪)
- 2016年 第2回「藝文京展2016」展 京都芸術センター
- 2017年 FACE展 2017 損保ジャパン日本興亜美術賞展 損保ジャパン日本興亜美術館 (東京)
- 2018年 風景の澱みから 井上光太郎・奈良田晃治・宮岡俊夫展 2kwギャラリー (大津)
- 2018年 Connection 村松邸 (松江)
- 2019年 STILL LIFE 静物展 YUKI-SIS (東京)
- 2019年 揺れる記憶 カッシーナ・イクスシー青山本店アートギャラリー DELL'ARTE (東京)
- 2019年 The Super Dupers- 妄想をカタチに変えたアーティストたち- スパイラルガーデン (東京)
- 2019年 韓日藝術通信 2019「温度/終わらない対流」清州市立美術館別館ギャラリー (清州、韓国)
- 2020年 韓日藝術通信 5「温度~往復書簡~」忠北文化館森ギャラリー (清州、韓国)
- 2021年 日韓藝術通信 5「温度~往復書簡~」The Terminal Kyoto (京都)

2021年9月21日(火) から 26日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

アーティストステートメント

僕は日本の近代化を支えてきた“日本人の精神”を徹底的に批判し解体するためにこのシリーズを描いた。

I painted this series to thoroughly criticize and dismantle the “spirit of the Japanese” which has supported Japan’s modernization.



Figure-Ghost Of Showa Era-
2020
油彩、カンヴァス F60 (131×97cm)



Emperor-Ghost Of Showa Era-
2021
油彩、カンヴァス M8 (27×46cm)



個展「名前を奪われた風景」
展示風景
KUNST ARZT
2016